

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



新原・奴山古墳群の展示も

カメラアステージがオープン



▲5万冊の蔵書がある図書館

旧津屋崎庁舎を再整備した図書・歴史資料館と、隣接した市文化会館を合わせた複合文化センター「カメラアステージ」がオープンしました。7月8日と9日の記念イベントでは、吹奏楽団や民話劇団の発表、映画の上映会や講演会、出店などさまざまな催しがあり、親子連れなどたくさんの方が訪れました。また、図書・歴史資料館を訪れた人は、ゆつくり本を選んだり、文化財や古墳群の展示室を見て回ったりと、思い思いに楽しんでいました。



▲記念式典のテープカット



▲漫画「クッキングパパ」の作者うえやまとちさんのサイン会



▲歴史資料館には前方後円墳の立体模型

豪快に駆け抜ける

津屋崎祇園山笠

夏の訪れを告げる津屋崎の伝統行事、津屋崎祇園山笠が今年もありました。7

月15日には安全祈願を行う裸参り、7月16日には追い山が行われ、追い山は、今年1番山が新町流、2番山が岡流、3番山が北流でした。たくさんのお客様でにぎわう津屋崎のまちを、鮮やかに飾られた3つの山笠が走り抜けた。この日は気温が30度を越える暑さの中、沿道からの勢い水を浴びた男たちは「オイサツ」というかけ声とともに、歯を食いしばりながら、勇壮に駆け抜けていきました。



▲新町流



▲岡流



▲北流

親子で田植えに挑戦 田植えの体験農業



▲快晴の中、田植えを楽しむ親子

西郷川花園横の水田で6月18日、田植え体験がありました。参加したのは市内外から集まった親子およそ200人。近所の農家の方に苗の植え方を教わった後、家族ごとに割り当てられた区画に植えていきました。初めて田植えをしたという東暖季ちゃん（四角区）は「泥が気持ち悪かったけど、楽しかった。また来年もやりたい」と話してくれました。秋には稲刈り体験をして収穫する予定です。

海水浴シーズン始まる

市内の海水浴場で海開き



▲津屋崎海水浴場での海開き

福岡、宮地浜、津屋崎、白石の4つの海水浴場で、6月30日から7月14日にかけて海開きがあり、今年の安全を祈願した神事が行われました。毎年、夏になるとたくさんのお客様が訪れる市内の海水浴場。事故なく海を楽しんでもらえるよう、関係者一同が海に向けて設置された祭壇に安全を祈っていました。

認知症になっても人生は終わりにじゃない 若年性認知症フォーラム



▲「人や社会とのつながりが大切」と語る丹野さん

4年前、39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんが、6月18日にふくとびあで「認知症であるわたしがみなさんに伝えたいこと」をテーマに講演しました。周囲に支えられながら現在も仕事や講演活動を続ける丹野さんは、認知症の当事者としての体験や思いを語り「認知症になってもできることはたくさんあります。できることを奪わないでください」と呼びかけていました。

長年の功績がたたえられました

宮司浜シニアクラブが緑綬褒状を受章



▲市長に受章を報告した宮司浜シニアクラブの皆さん

海岸の清掃活動などを行っている宮司浜シニアクラブが、緑綬褒状を受章しました。結成されたのは昭和38年。これまで環境美化に奉仕してきたことがたたえられて表彰されました。塩屋仁造会長は「栄誉ある賞に恥じることのないように、会員一同、これからも活動に精進していきたい」と語りました。